

「この難局を乗り越えるために」

札幌市立厚別北中学校 2年 小松 芽生

「おばあちゃんの新型コロナワクチン接種はお金がかかるの？」

私の質問に「おばあちゃんに接種代金はかからないよ。これもみんなの税金でまかなわれているのよ。」とお母さんが言いました。

私もインフルエンザワクチン予防接種をしたことがあります。もし、日本の人口の半分以上が新型コロナワクチン予防接種を受けたとしたら、どれだけの接種代金がかかるのでしょうか。想像が付きません。依然として終息の見えないコロナ禍において、ニュースを見ているとワクチン接種のみならず、たくさんの税金が使われていることが分かります。

緊急事態だから、税金をどんどん使うのは当たり前。そんなテレビのコメンテーターの言葉に、少し不安を感じてしまうのは私だけでしょうか。新型コロナウイルスにより財政が逼迫するかもしれません。

しかし、このコロナ禍で困っている人たちへ、ウイルスの蔓延を食い止める対策へ、税金を投入しなければ、前の暮らしは取り戻せません。

例えば、父や母のお給料から納める税金があります。父が働いている会社の利益から納める税金もあるそうです。私も洋服を買ったときに税金を納めました。お小遣いが多めに減って少し残念な気持ちでしたが、これらの税金が私たちの暮らしを支えるために使われるのなら「納税」の価値に気づき、納税が義務付けられている理由も今回、少し分かってきたような気がします。

納めた税金が、どのように使われているかが、さらに重要になってきます。

今までは特に考えたこともない税金についていろいろと調べていくと、税金の使われ方や大切さを知るようになります。税金とは無関係と思っていた私は、教育費に支えられて学校に通い、整備された道路を自転車で走り本を借りるために図書館を利用し、練習のためにテニスコートや体育館などの公共施設を目的に合わせて使える生活をしています。みんなが使えるから、みんなで払う税金で支える。

おばあちゃんに届いたワクチン接種券から予約をしている母の姿を見て、診療所の皆さんに感謝し、そして税を管理する方々にも感謝の気持ちさえ感じます。

税金は、国民の生活を豊かにし、より快適に、より安心して暮らせる社会を構築するうえで、無くてはならないものだと思います。今後、私たちも正しい税金の知識を持つことで、納税の義務を理解できるものだと思います。

税を納める人、税を管理する人、税を使う人、三位一体となって、税金の本来の目的を考え、使用目的を誤ることなく、この難局を乗り越えるためには、税金が重要な役割を担うと改めて思いました。